

猫汎白血球減少症（FPL）

別名：猫パルボ

【原因と特徴】

パルボウイルスによる病気で、高熱、嘔吐、下痢などの症状を示し、血液中の白血球の数が著しく少なくなります。脱水症状が続くと猫は衰弱し、特に子猫では非常に死亡率の高い伝染病です。（成猫でも致命的になることもあります）

猫パルボウイルスはたいへん強いウイルスで、外部から運ばれて簡単に猫に感染します。感染した動物の排泄物、主として便からウイルスが排出され、他の猫へ感染します。

一度パルボウイルスに感染し、回復すれば抗体ができるので、再び感染することはありません。

【診断】

臨床症状（発熱、食欲減退、元気消失、下痢、嘔吐、脱水など）、血液検査（著しい白血球の低下など）、糞便抗原検査などで行います。

【症状】

一般的な症状としては、発熱して元気がなくなり、食欲もなくなります。ついで、胆汁の色（黄緑色）がついた液体を吐くようになり、さらには下痢や血便もみられるようになりますが、このとき、適切な治療を受けることが必要です。

血液では、急激な白血球の減少がみられ、通常は1～2日でまた増加してきます。血便がひどいと貧血がみられることもあります。

また、胎児期や新生児期に発症すると、眼球や小脳に異常をきたすこともあります。

【予防と治療】

予防としては、母猫から免疫を受け取れるように初乳（出産後2～4時間以内の母乳）をしっかりと飲ませることと、生後8週間ごろの母猫からの免疫がきれるころに適切なワクチン接種を複数回受けることが第一です。成猫になってからも1年1回追加接種を行います。

人がウイルスを運ぶ可能性もあるので、屋外でノラ猫等にさわるときは注意しましょう。（とくに便に気をつけて下さい）

治療としては二次感染をおさえるための抗生剤療法、下痢や嘔吐による脱水の改善のための輸液療法などがあります。また、重度の場合輸血を行うこともあります。そして、下痢や嘔吐がおさまったら、体力回復のための食事療法を慎重に行うことが重要です。

杉山動物病院 TEL97-7770